

キンセンカ
Calendula officinalis
 (キク科)

仏花として古くから利用されている1年草である。花色はオレンジ、筒状花の部分が黒い品種もある。花卉や葉の萎れが起こり、日持ちが終了する。切り戻すことによって萎れはある程度回復する。後処理剤を使用すると萎れが生じやすい。

1) 品質評価基準

項 目	判 定 基 準	備 考
開花	A: 舌状花の花弁が展開する B: 筒状花の開花が始まる C: 筒状花が開花し終わる	
葉の萎れ	A: 萎れなし B: やや萎れる C: 激しく萎れ葉が垂れ下がるが、切り戻すと回復する D: 激しく萎れて葉が垂れ下がり、切り戻しても回復しない	激しく萎れると花首も垂れ下がる。
葉の黄変・褐変	A: 黄変なし B: 下位葉にわずかに黄斑がみられる C: 黄斑が広がり、褐斑がみられる D: 葉縁が壊死する	黄変部は白色化してやがて壊死する。
花卉の萎れ	A: 萎れなし B: 最外層の舌状花花弁に萎れが発生する C: 最外層の舌状花花弁がおおむね萎れる D: 舌状花の花弁全体が萎れる	
その他	茎の腐りなど。	

2) 留意点

生け水には水を用いる。

いけ水につかる部分の葉は取り除く。

暖地では露地栽培が多く、出荷時点で葉のいたみが生じている場合もある。

3) 開花



4) チェック事項



葉の萎れ



C: 葉の黄変



D: 葉の褐変・
壊死

葉の黄変・褐変

花弁の萎れ



C: 最外層の花弁
が萎れる



D: 花弁全体が萎れる